

第27回塩田まつりにブース出展しました。(2018年度)

塩と暮らしを結ぶ運動では、2018年10月21日（日）に山口県防府市の三田尻塩田記念産業公園で開催された「第27回塩田まつり」に、昨年度に引き続き、ブース出展しました。

昨年度は台風のため多くのプログラムが中止になりましたが、今年度は快晴で、塩たき実演や塩田作業体験、吹奏楽、塩浜太鼓や浜子うたの演奏、最後のもち・菓子まきまで、たくさんの催しが行われました。

そのような中、防府市（運動の協力団体）、地元の山口塩元売株式会社（全国塩元売協会会員）及び当地の塩田経営者の子孫が代表を務める日本精塩株式会社（日本特殊製法塩協会会員）が協力して、ブースを運営しました。

ブースでは、「塩の結晶を見てみよう！」と題して、三田尻塩田記念産業公園の塩、普通の食塩及び海外の湖塩の3種類の結晶を拡大鏡で覗き、どれがどの塩か当てるというクイズと、お子様向けに輪投げを実施しました。

身近にある塩ですが、結晶を拡大して見ることはあまりないので、同じ塩でもつくり方などで様々な形の結晶になることに、参加した皆様は大変驚いておられました。

結晶を覗いていただいた皆様には、塩の結晶にもいろいろあることに興味を持っていただいたことをきっかけとして、さらに塩と暮らしの関わりについても学んでいただくべく、冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』をお配りしました。

また、輪投げはお子様到大人気でした。参加いただいたお子様には、輪が入った回数に応じて運動のマグネットやクリアファイル、風船を差し上げました。貰った風船をさっそく膨らませて持ち歩くお子様も多くおられました。

当日は、イベント全体では約1,000名の来場があり、大変賑わいました。塩と暮らしを結ぶ運動では、その中で、約300名の方に、改めて塩に興味をもっていただくとともに、塩と暮らしの関わりについてお伝えしました。



結晶を覗く
子どもたち



大人気の
輪投げ



もち・菓子
まき

第26回塩田まつりにブース出展しました。(2017年度)

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2017年10月22日（日）に山口県防府市の三田尻塩田記念産業公園で開催された「第26回塩田まつり」（主催：三田尻塩田記念産業公園保存会）に、ブース出展しました。

山口県防府市は江戸時代中期から昭和30年代まで、全国有数の塩の産地として栄えた町です。かつての塩田跡地にあるこの公園には、入浜式塩田の施設が復元されており、塩田作業の体験もできます。また塩づくりの道具類や、塩づくりの様子を紹介などの展示もされています。

この公園では、毎年、「塩田まつり」が開催されており、塩の釜たき実演や塩づくり体験、塩づくりに関するクイズなど、塩づくりについての理解を深めるためのプログラムが実施されています。

今回、このおまつりに、近隣の塩卸売会社である山口塩元売株式会社（全国塩元売協会会員）及び当地にご縁のある日本精塩株式会社（日本特殊製法塩協会会員）の協力のもと、ブースを出展し、パネルを使った「塩と暮らしのなるほどクイズ」を実施しました。

当日は、台風21号の接近により大雨に見舞われ、予定されていた多くのプログラムも中止となり、塩田まつりへの来場者も200名程度でしたが、その中で約80名の方にクイズに参加いただきました。

クイズの参加者には運動のリーフレット、マグネット等も配布し、塩のつくり方だけでなく、塩と暮らしについても、理解を深めていただきました。

雨天の
塩田公園



屋内で
クイズを
実施



参加者への
配布物

